

2021年11月5日

SBIホールディングス株式会社  
取締役会 御中  
SBI地銀ホールディングス株式会社  
取締役会 御中

預金保険機構  
理事長 三井 秀範

### ご質問書

拝啓 時下ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、今月25日に株式会社新生銀行（以下、「新生銀行」といいます。）の臨時株主総会が開催される予定であり、付議議案として「新株予約権の無償割当ての件」が上程されております。当機構も新生銀行の株主として、当該議案について真摯に検討を行い、適切な対応を行っていく所存でございます。

臨時株主総会に上程される議案は、SBI地銀ホールディングス株式会社を公開買付者とする公開買付けに対する買収防衛策の発動を目指すものであり、この点、臨時株主総会における当機構の対応には極めて慎重な判断が求められるものと考えております。

これまでも貴社らの開示に基づき検討を重ねて参りましたが、より慎重な判断を期すために、当機構として検討に必要な事項を下記にてお尋ね申し上げますので、今月12日までに、適時開示の方法によりご回答を賜りたく存じます。

敬具

### 記

1. 2021年9月28日付の対質問回答報告書別紙37ページ<公開買付者の回答>④において、「SBIHDグループの資本業務提携先を含めた提携先の地域金融機関との連携やその他の地域金融機関との連携については、（中略）地域金融機関との協業を進めることにより、より深く各地域の事業支援や地域経済の活性化にご活躍いただけるものと確信しております。」とあるが、SBIホールディングス株式会社及びその完全子会社であるSBI地銀ホールディングス株式会社（以下、「SBIHDら」という。）の資本業務提携先の地域金融機関と新生銀行の協業により両者にどのようなシナジー効果があるのか、特に新生銀行の企業価値向上の観点からどのような貢献が見込まれるのかお示しいただきたい。

2. 新生銀行が SBIHD グループに入ることによって SBIHD グループに生じる企業価値の向上についてどのように考えているかお示しいただきたい。また、その企業価値の向上について新生銀行の少数株主も利益を享受するために、SBIHD グループ内での新生銀行の位置づけについて今後のグループ内での資本関係を含めてどのようにお考えかお示しいただきたい。

3. 新生銀行の取締役会の構成については、少数株主を含めた株主全体の利益を代表するものになるかが極めて重要であるほか、金融機関としての安定性の観点からも極めて重要であると考えられる。この点、SBIHD らは、3人の取締役候補を推薦した上で、独立社外取締役を取締役会の過半とするとしているが、独立社外取締役を真に独立したものとするための選定方法や、社内登用の可能性を含め、SBIHD らが支配株主となった場合の新生銀行の取締役会の構成にかかる見解をお示しいただきたい。

以上